

# 第5期科学技術基本計画と国際連携（G7「つくばコミュニケ」）

資料1-2  
平成28年 第5回  
科学技術イノベーション政策推進専門調査会  
H28.11.17

## World Scientific Topics and Trends

- ・グローバルヘルス（エージング、NTDs、PRDs）、女性の活躍（STEM）と若手人材育成、気候変動、国際ネットワーク、クリーンエネルギー、海洋観測、地球観測の強化、未来社会（QOL）の形成、インクルーシブ・イノベーション、オープンサイエンス、Data-Driven economy、COP21、SDGs など

第5期基本計画 → 科学技術イノベーションの国際活動と科学技術外交を一体的に推進

国内成長とともに、世界の発展に貢献することを宣言（計画全体が国際）

科学技術イノベーションは、

- 国内外の持続的かつ包摂的な発展に貢献できるのか。  
→これが大命題である。
- グローバル化の進展に伴い、国家間の相互依存関係は更に深まり、各国が抱える様々な課題は地球規模課題へと瞬時に発展する。
- このため、第5期科学技術基本計画では、国際協調の中にも戦略性を持って科学技術イノベーションを活用し、国内外の課題の解決を図る。

国際的にリーダーシップを発揮すべく、国際機関や国際会合の場を活用。また、二国間、多国間等の国際協力を戦略的に推進。

### 第5期科学技術基本計画における「戦略的国際展開」

- ・世界に先駆けた「Society5.0」の実現
- ・超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能な社会の実現
- ・地球規模課題への対応と世界の発展への貢献  
→地球規模の気候変動への対応、生物多様性への対応  
→海洋の調査・観測技術、海洋資源、持続可能な開発・利用等
- ・次代を担う人材の育成、女性の活躍促進、起業家人材の育成
- ・国際的な研究ネットワーク構築
- ・オープンサイエンスの推進
- ・インクルーシブ・イノベーションの推進
- ・グローバルなニーズを先取りする研究開発の推進  
(IoT、ロボット、人工知能(AI)技術等の連携、社会へのインパクト)

### 国際機関、国際会合の活用

情報の発信、情報共有  
STI政策、Society5.0等

#### OECD科学技術政策委員会(大臣)

→オープンサイエンス、人材育成、健康医療、国民の理解、AI

国連総会(総理) →気候変動、開発

#### G20科学技術イノベーション大臣会合(大臣)

→イノベーション主導の経済成長、起業家、国際協力、人材育成

TICAD(総理) →保健医療、若手、女性、気候変動、食料

国際科学技術大臣会合(大臣) →未来社会の構築(Society5.0)

STSフォーラム(総理) →Society5.0、女性の活躍

APEC CSAE会合(CSTI議員) →防災

### G7科学技術大臣会合(議長国)

国際的トレンド、5期基本計画を踏まえた議題の設定

議長国としてリーダーシップを発揮

### つくばコミュニケ Society5.0 (具体のアクションを提示)

- ・ Global Health
- ・ Gender and Human Resource Development for STI
- ・ Future of the Seas and Oceans
- ・ Clean Energy
- ・ Inclusive Innovation
- ・ Open Science

課題解決に向けた議論の継続

2017年  
G7イタリア  
科技大臣会合

2017年  
G20ドイツ

二国間、多国間等の国際協力を推進（先進国、新興国、開発途上国）

インクルーシブ・イノベーション、脳科学、AI、オープンサイエンス、健康医療、女性の活躍、人材交流、国際ネットワーク等

情報の発信、情報共有  
STI政策、Society5.0等